

2022年度



山梨英和ダグラスこども園 自己評価表

学校法人山梨英和学院 山梨英和ダグラスこども園

【評価対象期間】

2022年4月1日～2023年3月31日

【評価責任者】

韮崎市富士見2-2-25

幼保連携型認定こども園 山梨英和ダグラスこども園

園長 石川 健

山梨英和ダグラスこども園における自己評価の結果

A 達成できている
B おおむねできている
C 一部検討を要する
D 改善を要する

1, 保育・教育の計画の構成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見改善策
		A	B	C	D	
保育・教育目標について	1 保育・教育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。		○			
	2 目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。		○			
	3 目標は、社会の要請や保育者の願いを反映しているか。		○			
	4 目標は前年度の反省を生かし、全職員で検討し、共通理解を図っているか。	○				
保育・教育について	1 指導計画は、乳幼児の実態に即して成しているか。	○				
	2 一日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。			○		
	3 環境の構成を意識した保育・教育や過程を常に工夫しているか。	○				
	4 素材・用具を適切に活用しているか。	○				
	5 評価結果を基に、保育・教育の改善に努めているか。	○				
行事について	1 行事の種類や実施回数は適切か。	○				
	2 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているのか。	○				
	3 計画・実施・評価・改善(PDCAサイクル)の体制をとっているか。		○			
	4 保育者の願いや意見を取り入れているか。	○				
食育について	1 食育計画を作成し、よりよい食習慣や心身の健康の基礎を培うよう努めているか。	○				
	2 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食育について見直しや改善を図っているか。	○				

2, 保育・教育の計画の構成と実施を支える諸条件に関する評価

項目		内 容	評 価				意見改善策	
			A	B	C	D		
経 営 ・ 組 織	分 掌 ・ 体 制	1 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○				
		2 職員の配置は適材適所か。		○				
		3 係や分担・割り当ては適切か。		○				
	運 営	1 各種会議を適切にかつ効率的に進めているか。		○				
		2 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○					
	年 齢 別 ・ ク ラ ス 経 営	1 年齢別・クラス目標は、保育・教育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○					
		2 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○					
		3 同年齢及び異年齢間の効果的な活動の充実を図っているか。	○					
		4 評価、資料(諸記録)を集積しているか。		○				
	保 健 ・ 安 全 指 導	1 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか	○					
		2 避難訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。	○					
		3 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○					
		4 乳幼児の安全確保のため、家庭・地位社会・関係機関等と連携を図っているか。	○					
	情報 の 取 り 扱 い	1 乳幼児や保護者に関する個人情報을適正に計っているか。	○					
	研 究 ・ 研 修	園 内	1 研究主題は、保育目標の具現化につながるものである。	○				
			2 園内研修の計画・運営は適切か。	○				
3 研究成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。			○					
4 研究の実践による乳幼児理解が深まりをみせているか。				○				
園 外		1 各種研究会、研修会、講習会への参加体制の充実を図っているか。	○					
		2 各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか。	○					

項目	内 容	評 価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
施設・設備	1 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○					
	2 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。	○					
	3 不審者等に対する周到な配慮を行っているか。	○					
	4 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○				
経出 理納	1 保護者会会計を適正かつ適切に処理しているか。		○				
開 か れ た 園 づ く り	施設 間 連 携 交 流 ・	1 他施設等の乳幼児児童生徒と触れ合うなかで乳幼児が楽しく過ごし充実感を味わう事が出来るような配慮や援助・支援をおこなっているか。	○				
		3 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○			
	子 育 て 支 援 の 推 進	1 地域の子育て支援として、園庭や保育室等を開放しているか。		○			
		2 「子育てについて」など、保護者を対象とした情報提供の機会を設けているか。		○			
		3 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。			○		
		4 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
	情報の 発信	1 園だよりやホームページなどを活用して、施設の情報を提供しているか。	○				
	外 部 評 価	1 第三者委員からの意見を施設運営に反映しているか。	○				
		2 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。			○		

(2022) 年度 自己評価表

園名 (山梨英和 **ダグラス** こども園)

職員数 (22名)

回答数 (22名)

	良い		普通		努力が必要
	5	4	3	2	1
教会生活	1	4	7	6	4
計画性	0	5	12	5	0
実行性	0	7	13	2	0
健康面	3	7	7	4	1
精神面	3	9	7	3	0
研究面	0	8	6	8	0
技術面	0	5	12	5	0
コミュニケーション能力					
園児	5	13	4	0	0
保護者	1	2	17	2	0
同僚	4	5	11	2	0

--

記録日 (月 日)

自己評価表2

山梨英和（ダグラス）こども園

教職員22名（提出22名）

記入日 年 月 日

分類	内容	評価 A	評価 B	評価 C	備考
保育の 計画性	教職員が建学の精神、教育理念・方針を理解している。	8	14	0	
	指導計画は子どもの生活が豊かになることを目標とし、子どもの実態に合わせ、かつ、状況の変化に対応できるものになっている。	4	16	2	
	指導計画に基づいて、子どもが主体的に関わり、安心して遊べる環境構成を、活動の展開に応じて行っている。	5	13	4	
	自分の保育と計画の評価・反省を次の保育に生かせるようにし、また、教職員間で検討したことを子ども達の生活と自らの保育につなげている。	7	13	2	
保育の在り方 乳幼児への対応	子どもの言葉にならないサインを受け止め、子ども同士の関わりのなかにある心の動きに寄り添い、内面の理解に努めている。	13	8	1	
	一人ひとりの姿を受け入れ、子どもの気持ちに共感しながら集団と個の関係を常に考慮し、発達段階や特性に応じた見通しのある関わりを努めている。	9	11	2	
	他のクラスや異年齢の関わりがあるよう、様々な保育形態を取り入れ、指導上配慮を必要とする園児については、特に情報交換を密接にし、共通理解をもって、対応している。	3	15	4	
教師としての資質 や能力・適正	園児のことや、自分の保育の事等を分かりやすく伝えたり、職務上知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守るなど、保護者との信頼関係を作ることに努めている。	10	10	2	
	子ども達と一緒に作り出すことを楽しむ中で、園児一人ひとりの成長が理解でき、それを喜ぶことができる。	15	7	0	
	子どもや教育に関する情報をたえずとらえようとする姿勢を持って。また社会の出来事にも関心を払い、それを保育に活かしたり、自然に対しても感性を磨こうと努めている。	7	12	3	
保護者への 対応	子どもの様子、自らの保育観、保育のポイントなどを通信によって知らせたり、連絡帳を活用して伝え合っている。	8	13	1	
	保育参観（参加）や懇談会を開いて、子どもや保育または家庭の在り方などについて、自分の観点を伝え、保護者の話にも心を開き、共通理解を得るよう努めている。	5	15	2	
地域の自然や 社会との関わり	子どもの育ちの連続性を踏まえ、地域の子育て支援としての役割を果たすとともに、卒園した園児の心の拠り所としてふさわしく位置づけようと努力している。	1	18	3	
	地域の自然との関わりを通して、子ども達の生活が豊かになりますように、と工夫している。	4	15	3	
研修と研修	子ども達の内面を、その背景などに視点を置いて理解し、常に共感的関わりに基づいた保育を進めているか、教職員間で検討し、学んでいる。	6	15	1	
	子ども達の育ちの連続性に配慮し、家庭や小学校などとの望ましい連携の有りかたを研究し、模索している。	2	12	8	

A…十分に達している B…ほとんど達成しているが、部分的に課題がある C…課題が多くあり、成果が上がっていない